

平成27年度12月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成27年12月1日（火）午前11時00分～午前11時45分

場所 市役所2階第1委員会室

出席 市政記者クラブ等13社

会見内容

1. 話題提供（4項目）

1. オーストラリア姉妹湿地訪問について

■ まず、最初の話題です。

去る、11月4日から10日まで、7日間の日程でオーストラリアを訪問しました。

現地ではニューカッスル市のマイケル・オズボーン（Michael Osborne）副市長、ポートスティーブンス市のブルース・マッケンジー（Bruce MacKenzie）市長とともに姉妹湿地提携更新の調印を行いました。

■ ハンター河口湿地では湿地の再生プロジェクトを行っている団体「クーラガンダ・ウェットランド・リハビリテーション・プロジェクト」の施設で10年前にも行われた記念植樹を行いました。

■ ハンターウエットランドセンターでは、団体の創立30周年記念式典に出席し、湿地保全に関する活動の紹介を行ったほか、様々な場面で、ハンター河口湿地の保全活動関係者、市及び市議会の関係者、先住民族ウォルミの方、国立公園のレンジャー、湿原を題材として活躍するアーティストの方などと意見を交換することができました。

■ 今回の訪問により、釧路とオーストラリア両地域の交流は、湿地保全活動や渡り鳥の調査だけでなく、文化、芸術、教育などの視点からも新たな広がりの可能性を感じました。

■ 姉妹湿地提携の更新を機に、今後、さらに多様な視点をもって、釧路市、ニューカッスル市、ポートスティーブンス市の交流と友好を進めてまいります。

2. 赤いベレー施設内特産品販売所 「阿寒マルシェ」のオープンについて

■ 次に話題の2つ目です。

この度、サイクリングターミナル・丹頂の里保養センター（赤いベレー）の元自転車置場の改修工事が終了し、12月19日（土）特産品販売所「阿寒マルシェ」

をオープンする運びとなりました。

- 冬期間の厳しい状況下ではありますが、いよいよ間近にせまった阿寒インターチェンジ開通に向け、阿寒地域の皆様はもとより、ご利用いただくすべての皆様に改めて道の駅「阿寒丹頂の里」をご紹介させていただきたいと思っております。
- 12月19日（土）午後1時からのオープンイベントでは、セレモニーに続きまして、阿寒の美味しいお肉や野菜をはじめ、釧路の魚介類など、特産品のお楽しみ袋を販売するとともに、オープンを記念して先着200名の方に記念品をお配りいたします。
- また、赤いベレー「レストラン鶴」の料理長によるライブキッチンや梳き昆布すの実演販売などを楽しんでいただけるイベントがいっぱいです。
- なお、19日（土）、20日（日）の両日は、阿寒町からイベント会場まで循環バスを運行いたします。
ぜひ、道の駅「阿寒丹頂の里」までお越しいただき、阿寒はもとより、釧路の食の素晴らしさを改めて感じ、友人・知人の方へお勧めいただくと幸いです。

3. 漫画による釧路市シティプロモーションについて

- 次に話題3です。
漫画による釧路市シティプロモーションについて、ご報告いたします。
- 本年9月より連載がスタートし、釧路市が積極的に応援をしております、釧路市を舞台とした少女漫画、「9（ナイン）～キミがいる街で恋をした～」の単行本の発売が決定いたしました。
- 発売日は、12月25日頃、小学館様より出版され、全国の書店で販売されます。
- 漫画の中では、出世坂や幣舞橋、釧路大漁どんぱく、阿寒湖の夏希灯、そしてザンギなどが、高校生が織りなす青春ストーリーとともに、釧路市の魅力としてたくさん描かれております。
- また、第1話及び第5話の巻頭で描かれました2つのカラーの扉絵につきまして、その複製原画を作者であります京町妃紗先生きょうまちひさ、小学館様より贈呈いただきましたので、あわせてご報告いたします。

- 贈呈いただいた複製原画はこちらになります。
出世坂と釧路大漁どんぱく花火大会が背景に描かれております。
- この複製原画は、明日12月2日より市役所本庁舎1階市政情報コーナーと市立釧路図書館に展示させていただきますので、多くの市民の皆様にご覧いただきたいと思っております。
- 今後も、「9（ナイン）」を積極的に応援する中で、釧路市のPRを図ってまいりたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

4. 釧路市長期滞在上半期実績の発表について

- 最後に話題4です。
今年度の北海道体験移住「ちょっと暮らし」上半期における釧路市長期滞在実績は、211組359名、延べ滞在日数8,960日で、昨年同時期と比較して、人数ベースでおよそ1.6倍の伸びとなり、早くも昨年1年間の実績181組295名、延べ滞在日数8,812日を上回る結果となりました。
- このような結果に結びついたのも、長期滞在事業の牽引役である官民連携組織「くしろ長期滞在ビジネス研究会」に所属する会員の皆様のご尽力によるものと感じております。
- 最近の特徴として、「花粉ゼロの快適空間」をキャッチフレーズにPRをしております冬季間の滞在実績が、くしろ長期滞在ビジネス研究会の会員の方々による粘り強いPR活動により、昨年度から急伸しており、あわせて春も滞在されるケースが増えております。下半期についても、昨年度の実績43組を上回る滞在を予想しております。
- なお、一人あたりの滞在日数が短くなっておりますのは、来年度以降の長期間の滞在を見据え、いわば「下見」としてホテル滞在される方が増えているためと分析しております。
- また、釧路市の総合戦略では、長期滞在を目的としたツアー客の受入数も増加していることから、この状況を踏まえて、平成31年度の長期滞在者数のKPIを北海道体験移住「ちょっと暮らし」ベースの443人からツアーによる滞在者も含めて1,200人へ変更し、更なる拡大を図っていきたいと考えております。
- 報道機関の皆様による情報発信や研究会ホームページの整備、リピーターの方な

どからの口コミなどをきっかけに、既に来年夏の滞在や再来年の滞在を検討する問い合わせが急増しており、夏以外の誘客と並行して滞在施設の増強について準備を進めております。

- 今年度より地方創生の交付金を活用した、くしろ長期滞在ビジネス研究会会員が所有または管理する物件のリフォーム費の補助制度をスタートしております。

現在までに10件10戸のリフォーム申請があり、滞在施設の増加を図っているところです。

現在も、相談が複数寄せられており、整備戸数はさらに増えるものと見込んでおります。

- 今後におきましても、くしろ長期滞在ビジネス研究会との連携を図りながら、釧路地域の魅力を発信していくとともに、滞在しやすい環境づくりに努め、交流人口の拡大による地域の活性化を図り、長期滞在をきっかけとした釧路ファンの拡大を図っていききたいと考えております。

- また、道内の状況については、北海道より近々発表される予定となっており、その際に、釧路市の順位が確定いたします。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・ 長期滞在の交付金を活用したリフォーム補助制度で10件10戸の申請があったとのことですが、予算枠一杯を使っているのでしょうか。現在の受入個数は予想していた数だったのでしょうか。来年度について枠を広げる考えがあるのか、市長のお考えをお聞かせください。

阿寒マルシェについてですが、常設店でしょうか。また、販売アイテム数をお知らせください。

(交流推進主幹)

- ・ 予算が50戸分、一戸あたり40万円で、総額2,000万円となっております。それに対し、現在の執行額は10戸分で400万円です。相談も10件程度はあり、該当するか審査をしている段階で確定していませんが、今後も件数は増える見込んでいます。

(市長)

- ・ 今回、受け入れのキャパシティーを増やしていく考えのもとで補助制度を実施しています。設備投資をするために365日の内どれだけ空き期間ができるのかを検討しなければいけないのだと思います。来年度については、利用者のご意見を聞きとりしながら、予算編成の中で検討したいと考えています。

(総合政策部長)

- ・ 多くの方に関心を持っていただいている状況です。1件の相談で、複数の物件の

リフォームを検討している場合もあるため、ポテンシャルはあると思われます。

執行率が見込みより大幅に低くなるという予想は現時点ではしていません。

(阿寒町行政センター長)

- ・ 阿寒マルシェは105平方メートルの常設店で、取り扱い品目は管内の物を中心に、約500品目を確保する予定です。JA阿寒、地元商工会の菓子店、釧路の水産加工物、釧路市漁業協同組合、釧路市東部漁業協同組合、釧路機船漁業協同組合、釧路市物産協会などのご協力もいただき、オープン時とその後の常設時に500品目を販売します。

(質問)

- ・ 釧路市内で、500品目の規模で、水産、畜産、農産の地場製品の取り扱いしている場所はほかにありますか。

(阿寒町行政センター長)

- ・ MOO や和商市場さんを別にすると、このエリアとしては、500品目はかなり多い数だと思います。

(質疑)

- ・ 阿寒マルシェの建物は改修したということですか。和商のマルシェ釧路のような物産館ですか。改修工事費はどのくらいですか。

(阿寒町行政センター長)

- ・ 赤いベレーの建物の左側に既存の施設としてサイクリングスペースがあったのですが、高速道路の開通を見越し、そこを改修し物産館を設置したものです。マルシェ釧路さんにもご協力をいただいています。阿寒の物産、釧路の物産を中心に管内のものが主な品物になります。ミルクークラウンさんのソフトクリームなども入ります。設置事業費は約500万円です。

(市長)

- ・ 高速道路が開通すると東北道の玄関口になります。東北道周遊ルートでもありますので、大きな役割を果たすことになると思います。

(質疑)

- ・ 阿寒インターチェンジの開通日はいつごろでしょうか。

(市長)

- ・ まだ通知がありません。

(質疑)

- ・ 道の駅が正式に移転するのは、来年度のいつごろですか。

(阿寒町行政センター 佐藤主幹)

- ・ 今、国土交通省の本局まで申請が上がって、北海道開発局と最終調整をしていると聞いています。事務方としては今年度中にはと考えています。

(質疑)

- ・ 現在の道の駅が道路向かいの赤いベレー側に移転するということですか。道路をまたいで阿寒国際ツルセンターなどに行く形になると思うのですが、道路を横断することになりますが、対応策などはありますか。また、定休日がありますか。

(阿寒町行政センター長)

- ・ 現状と同様に信号のある一番大きな交差点を渡っていただくことになります。道の駅の機能を将来的に赤いベレー側にしたいという構想です。定休日はありません。

(質疑)

- ・ 駐車場はあるのですか。

(阿寒町行政センター長)

- ・ 道の駅側は35台、赤いベレー側は80台の駐車スペースがあります。

(質疑)

- ・ 漫画でのシティプロモーションについてですが、作者の京町妃紗さんは釧路に縁のある方ですか。また、スタッフに釧路出身者がいますか。

(総合政策部長)

- ・ 小学館さんとは、「僕らがいた」の作者である小畑友紀さんとのつながりがあり、京町さんは、釧路市の姉妹都市である鳥取市のご出身とのこと。アシスタントに釧路出身者がいると聞いています。また、本人も釧路に取材に来られ、連載中の雑誌「ショウコミ」には釧路を取材した際の釧路レポートも掲載されています。

(質疑)

- ・ 市長はメディアを使ったまちづくりについてのお考えがありますか。

(市長)

- ・ やはり情報発信のツールとして、まちの名前が全国規模の雑誌、テレビにでてくることは大事なことだと思います。幅広い世代への働きかけも重要だと思います。

(質疑)

- ・ フィルムコミッションについてですが、市役所の観光振興局の職員が兼務して業務を行うのではなく、専従組織がある方がよいのではないのでしょうか。専従組織があるのとないのとでは、入り込み具合が異なってくると思いますがいかがでしょうか。市長個人のお考えをお聞かせください。

(市長)

- ・ 現在はフィルムコミッションについて市役所の観光振興室が一定の役割を担いながら行っています。しかし、継続的な誘致をしていくためにはある程度のロット、数が必要だと考えています。

あくまで個人の考えですが、道内観光の4ブロック每で行うのか、市町村単位で行うのかといったことを考える必要があります。どのように連携していくのかが重要だと思います。市が単独で行うのはなかなか難しいと思います。

(質疑)

- ・ 最近、市長の市政運営について新聞記事がありました。来年の出馬の要請があるなど動きがあるようですが、三期目の意欲、出馬に向けてのお考えはありますか。

(市長)

- ・ まち・ひと・しごとの地方創生総合戦略の中でK P I を定めたところで、まずは、これをしっかり進めていく必要があると考えます。

(質疑)

- ・ 小畑道議会議員の後援会での会合の中で、推薦状を受け取られたということで、市長の出馬表明と考えてよろしいのでしょうか。前は政党推薦を受けなかったですね。

(市長)

- ・ 推薦についての文書をいただき、これについては大変ありがたいことで、出馬したいとお答えしたことは事実です。前回の選挙では、政党推薦は受けていません。まずは、平成27年度の集中改革プラン最終年であることから、これをしっかりと達成し平成28年度の予算を作成していきます。

(質疑)

- ・ 前回の記者懇談会の内容です。釧路市内の旭化成建材施工のくい打ち偽装問題について、午前の定例記者懇談会の後に午後からも記者発表がありました。記者懇談会では午後の内容について語られなかったわけですが、市長が事前にご存知であったならば、市長自ら、発言すべきであったと思います。定例記者懇談会の場を優先して発表すべきだと思います。

(市長)

- ・ 記者懇談会のやり方は色々あると思いますので、よく担当課とも相談したいと思います。